

公共交通機関の運休等及び交通総量抑制対策について

1 公共交通機関の運休及び変更

サミットの安全を確保するため、サミット期間中は賢島周辺の公共交通機関では、以下のとおり一部運休または運航の変更が行われました。

(1) 期間

平成28年5月21日(土)始発～平成28年5月28日(土)7:00

(2) 運休・変更内容

ア) 鉄道・バス

- ・近畿日本鉄道(志摩線)の鵜方駅～賢島駅間の運休
- ・三重交通バス(59系統)の鵜方駅～賢島駅間の運休
- ・伊勢志摩リゾートホテル直行バス「パールシャトル」の運休

※ 代替手段として、鵜方駅～賢島駅間にシャトルバス(外務省運用)を運行。

※ 賢島には、外務省発行の識別証をお持ちの方のみ入域可能。また、賢島の手前に設置されるセキュリティ・チェックポイントにて保安検査が実施されました。

イ) あご湾定期船

- ・賢島～浜島航路：御座～賢島間の運休
 - ・賢島～和具航路：賢島港に代わり、志摩地中海村のマリーナを発着場所に変更
- ※ 志摩地中海村～鵜方駅間をシャトルバス(外務省運用)が運行。

2 交通総量抑制対策に係る取組

伊勢志摩サミットの成功に向け、交通規制に伴う一般交通への影響を最小限にとどめるため、テロ対策三重パートナーシップ交通対策推進ワーキンググループと連携して、オール三重で県下全域での交通総量抑制対策に取り組みました。

(1) 対策期間

平成28年5月25日(水)～28日(土)

(2) 取組内容

- ・不要不急の乗用車利用の自粛
- ・通勤時等における公共交通機関利用の促進
- ・移動時の乗り合い乗車の促進
- ・期間中における不要不急の会議、イベント等の自粛等

(3) 開催期間中の状況

サミット開催期間中、若干の交通渋滞はあったようですが、高速道路でも渋滞は発生せず、大きな混乱は回避できたと聞いています。皆様のご理解・ご協力により、円滑な交通流の確保ができたものと考えています。

伊勢志摩サミット推進本部の各委員会における取組について

平成27年7月14日に、伊勢志摩サミット推進本部の下に防災・危機対策委員会及び保健・医療対策委員会を設置し、伊勢志摩サミットの円滑な実施に向け、防災・危機対策、食品衛生対策、感染症・医薬品対策、救急医療対策及び水道対策を行いました。

1 伊勢志摩サミット防災・危機対策委員会の取組結果

(1) 消防特別警戒の状況(5月24日～29日)

平成28年5月24日(火)から29日(日)の期間中、部隊が出動した救急案件は8件ありました。首脳クラスの救急搬送はなく、傷病者の症状はいずれも中等症又は軽症であり、特に大きな問題はありませんでした。

※中等症…傷病の程度が入院を必要とするもので重症(3週間以上の入院加療必要)に至らないもの

※軽症…傷病の程度が入院を必要としないもの

(2) DONETを活用した津波予測・伝達システムの状況(5月24日～27日)

平成28年5月24日(火)から27日(金)の期間中、特別体制として、三重県地震・津波対策アドバイザーをはじめとする2名の専門家に三重県庁内に待機いただき、「DONETを活用した津波予測・伝達システム」の監視や同システムの運用体制等に対して指導をいただきました。

2 伊勢志摩サミット保健・医療対策委員会の取組結果(5月25日～28日)

(1) 開催期間中の健康被害等について

サミット開催期間中における健康被害等の発生状況について、定期的に情報を集約し、関係機関において情報共有することにより、相互の連携を深め、健康被害等の拡大防止等を図ることを目的として、平成28年5月24日に「伊勢志摩サミットに係る健康被害等発生状況定時報告要領」を制定しました。

平成28年5月25日(水)から28日(土)の期間中、1日3回(9時、13時、17時)県内保健所、水道事務所等から健康被害等の発生状況をとりまとめて情報共有を行った結果、サミット開催期間中に、食中毒・感染症の発生はなく、毒物劇物取扱施設・水道施設の異常もありませんでした。

(2) 医療対策本部活動状況について

平成28年5月25日(水)から28日(土)の期間中、救急医療情報の集約を行い、この間、受入医療機関及び救護所から医療対策本部へ報告された救急患者数は63名(延べ75件)でしたが、首脳クラスの患者は発生しませんでした。

小型無人機（通称ドローン）の飛行規制について

1 根拠規定（三重県条例）

伊勢志摩サミット開催時の対象地域及び対象施設周辺地域の上空における小型無人機の飛行の禁止に関する条例

※国の法律

国会議事堂、内閣総理大臣官邸その他の国の重要な施設等、外国公館等及び原子力事業所の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律（以下「法律」という）

2 規制の目的

この条例は、伊勢志摩サミット開催時の対象地域及び対象施設周辺地域の上空における小型無人機の飛行を禁止することにより、要人への危険を未然に防止し、もって会議の円滑な実施、良好な国際関係の維持及び地域の安全の確保に資することを目的として施行しました。

3 規制の対象

- (1) 小型無人機を飛行させている者、飛行させようとしている者
- (2) 小型無人機

※飛行機、回転翼航空機、滑空機、飛行船その他の航空の用に供することができる機器であって構造上人が乗ることができないもののうち、遠隔操作又は自動操縦（プログラムにより自動的に操縦を行うことをいう。）により飛行させることができるものをいう。

4 規制期間

平成 28 年 3 月 27 日から同年 5 月 28 日までの間

5 規制場所

- (1) 志摩市賢島内の円山公園内の四等三角点を中心として 1,500m の半径を有する円内の地域（海域を含む。）
- (2) 知事の指定する対象施設、当該対象施設の敷地又は区域及びその周囲 300m の地域

外務省、警察庁等と調整し、平成 28 年 5 月 21 日、条例第 3 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、内宮（皇大神宮）、国際メディアセンター（三重県営サンアリーナ）の 2 箇所を指定しました。

なお、法律では、県内 4 箇所（志摩観光ホテル、宝生苑、内宮、志摩スペイン村第 3 駐車場）のほか、愛知県内の中部国際空港、広島県内の平和記念公園が指定されました。

6 規制方法

- (1) 許可制

飛行させようとする日の 40 日前までの申請が必要でありましたが、申請はありませんでした。

(2) 即時強制

7 罰則

無許可で小型無人機を飛行させた場合は、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金

8 国の法律との主な相違点等

(1) 規制対象

国の法律では、人が飛行することができる「特定航空用機器」も規制対象

(2) 規制場所

国の法律では、対象施設の敷地又は区域及びその周囲おおむね300mの地域が、当該施設に係る対象施設周辺地域として規制対象

(3) 規制方法

国の法律は届出制(飛行させようとする日の48時間前までの届出が必要)

9 周知への取組

三重県公報、ホームページ及び自治体広報誌への掲載、住民懇話会での説明、広報イベントでのチラシ配布や自治会回覧板の活用、公共施設や大型スーパー等へのチラシ掲出等、あらゆる機会・手段を活用した周知に努めました。

10 法律、条例の適用実績

規制後に法律や条例が適用され、警告・検挙された事例はありませんでした。

社会資本整備について

1 道路整備等

サミット開催に向けて、伊勢志摩地域を中心に、以下のとおり道路・河川・港湾等の整備を行いました。

	対象者	目的	整備対象	目標とする機能・性能	主な整備内容	整備対象
①	要人・関係者	サミットの確実な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・関係会場周辺 ・要人等の移動で利用が想定される道路 ・上記に隣接する河川等 	走行性の確保及び移動時間の短縮	舗装補修備	30 路線 37 河川
				危険物設置可能性の排除	<ul style="list-style-type: none"> ・河床整備 ・道路、河川等の除草 ・港湾清掃 	
				警備上の視認性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・照明灯設置（撤去） ・監視カメラ設置（撤去） ・防護柵更新（ガードパイプへの転換） 	
②	来訪者	三重の好印象の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・関係会場周辺 ・主要交通結節点周辺 ・上記を連絡する道路等 	わかりやすい案内標示	道路標識の英語表記	4 港湾
				美しい風景の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の剪定 ・橋梁の再塗装 ・港湾施設の補修 	
③	地域住民	生活への影響低減	交通規制等に伴う一般車両の迂回路等	地域住民の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・道路路肩補強 ・道路法面補強 ・道路区画線の更新 	

2 通信インフラの整備

(1) 携帯電話通話不可区域の解消について（伊勢道路）

伊勢道路においては、五十鈴トンネルから伊勢方面への約 1.5km及び、志摩トンネルから伊勢方面への約 2.5kmが、携帯電話通話不可区域となっていました。

株式会社NTT ドコモは、サミットを契機に携帯電話通話不可区域の解消に向けたインフラ整備を進めるため、3月上旬に環境省から同区間における工事の許可を得るとともに、神宮司廳との設置契約を締結しました。その後、同社は工事に着手し、サミット開催に合わせ、工事を完了させました。

※ 株式会社NTT ドコモが代表して工事を実施しましたが、株式会社KDDI、ソフトバンク株式会社を含む全通信事業者においてサービスの利用が可能となりました。

(2) WiFi 等の整備について

①概要

外国人旅行者を受け入れる事業者の環境整備を支援し、本県への更なる外国人旅行者誘致を図るため、ア) 県直営整備支援、イ) 「三重県海外誘客促進環境整備補助金」による整備支援、ウ) 民設民営方式による整備により、WiFi の整備を行いました。

※ 「三重県海外誘客促進環境整備補助金」では、「無料公衆無線 LAN 整備」「消費税免税店開設整備」「施設内外国語表記等改善」に係る整備費の一部（補助対象経費の1/2以内）を補助。

②整備実績（平成27年度）

ア) 無料公衆無線 LAN 整備 (FreeWiFi-Mie の整備状況)

区分	箇所数	うち、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町整備分
県直営整備支援によるもの	78	65 (83.3%)
平成27年度三重県海外誘客促進環境整備補助金によるもの	54	34 (62.9%)
民設民営方式 (H28.4 時点で報告のあった「FreeWiFi-Mie」プロジェクト協力事業者によるもの)	1,155	259 (22.4%)
合計	1,287	358 (27.8%)

イ) 消費税免税店開設準備

申請件数	箇所数	うち、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町整備分
9	16	14

ウ) 施設内外国語表記等改善

申請件数	箇所数	うち、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町整備分
31	39	14

各国先遣隊歓迎夕食会について

1 概要

来県される各国先遣隊に対し、三重の食材を生かした料理やお酒、伝統芸能等の披露等によるおもてなしで慰労するとともに、三重の魅力を発信し本国に伝えていただくため、夕食会を開催しました。

※先遣隊：本国政府の関係者がサミットの準備状況確認のため来県するもの。

2 夕食会日程

別添「夕食会日程」のとおり。

3 具体内容

夕食会では、三重の魅力をまとめたパワーポイントを使いプレゼンテーションを行うとともに、サミットに向けたDVDを上映する等、三重のPRに努めました。

また、三重の食材をふんだんに使った料理の提供、三重の地酒による乾杯、伝統芸能の披露等によるアトラクション、素晴らしい華や伝統工芸品等による装飾・展示等、多くの協賛もいただきながら、三重の魅力を発信しました。

なお、この機会を捉え、サミット開催前後における各国首脳等と県民との交流（「世界との絆づくり」）を実現するための働きかけを行いました。

4 協賛

<食材>

尾鷲市海面養殖振興協議会、(一財)熊野市ふるさと振興公社

<飲料>

アサヒビール(株)中部統括本部、伊勢萬(株)、(一財)熊野市ふるさと振興公社、清水清三郎商店(株)、国立大学法人三重大学、(株)宮崎本店、合名会社森喜酒造場、尾呂志夢アグリ、尾鷲名水(株)、(有)森と水を守る会、味の素ゼネラルフーズ(株)

<華の装飾>

真生流いけばな 家元目代 爪橋静華、草月会三重県支部、池坊津支部

<展示>

黒瀬町自治会、めがね工房ごうじ、榎並孝子(人形作家)、小林豊子きもの学院近畿本部

<通訳ボランティア>

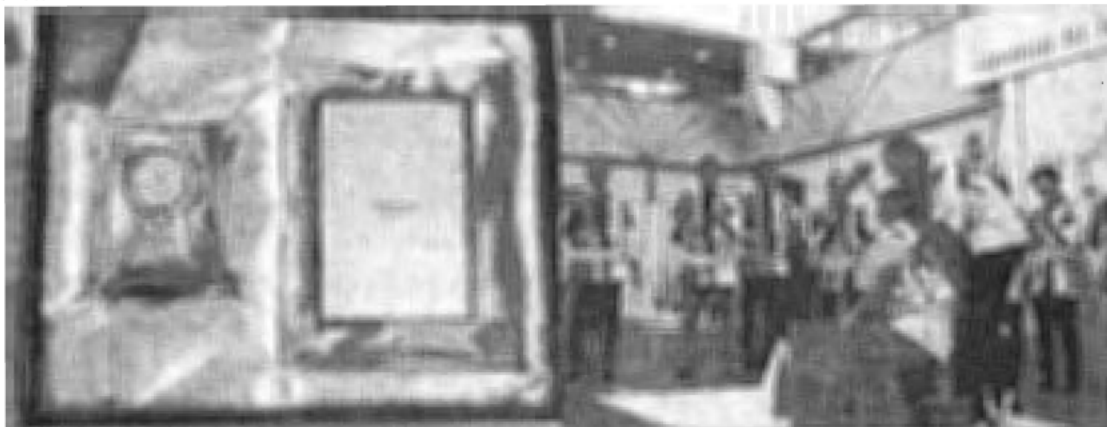
住友電装(株)、日本トランスシティ(株)、(株)百五銀行

5 お土産品の提供

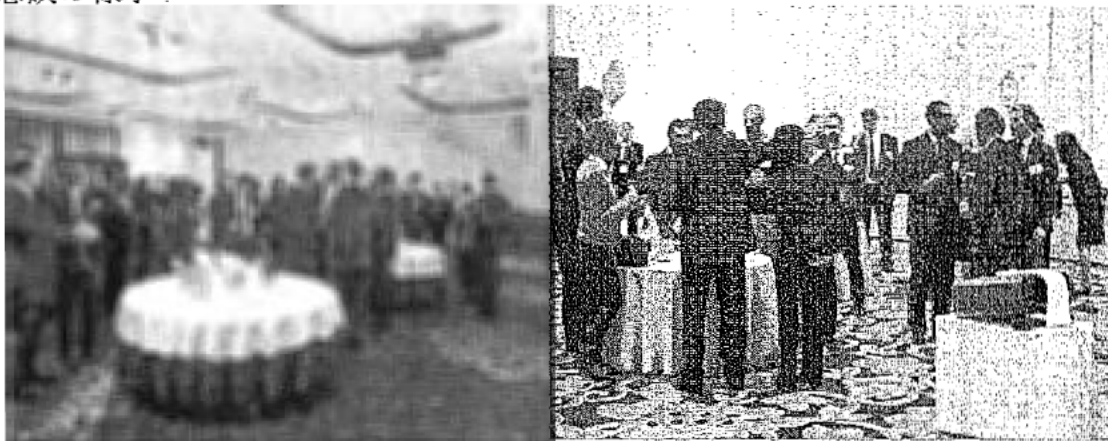
伊勢市、志摩市、鳥羽市、尾鷲市、熊野市、松阪市、公立大学法人三重県立看護大学、皇學館大学、国立大学法人三重大学、榑稻藤、鳴海製陶㈱

団長への記念品

アトラクション



懇談の様子



【夕食会日程】

月日	国	相手国 参加人数	市町長等	アトラクション	乾杯酒	場所
2月22日(月)	ドイツ	12名	大口 志摩市長 小山 南伊勢町長 久保 多気町長 亀井 鈴鹿市副市長 尾西 三重大学理事兼副学 長	恵利原早餅つき(恵 利原早餅つき保存 会)	三重大学 (純米大吟 醸)	賢島宝生苑
3月9日(水)	欧州連合	8名	大口 志摩市長 竹上 松阪市長	—	宮の雪酒塊 (純米大吟 醸)	志摩観光ホテル ザ・ベイスイート
3月15日(火)	イタリア	8名	木田 鳥羽市長 大口 志摩市長 河上 熊野市長 久保 多気町長	磯部染打ち(神童会)	ラカント梅酒 「豊穡の海」	プライムリゾート賢島
4月14日(木)	アメリカ	47名	木田 鳥羽市長 鈴木 伊勢市長 大口 志摩市長	木遣り(伊勢神宮奉 仕会青年部)	おかげさま (大吟醸)	NEMU HOTEL&RESORT
4月18日(月)	カナダ	14名	小山 南伊勢町長 藤本 伊勢市副市長 岩田 尾鷲市長	尾鷲節(尾鷲節保存 会)	るみ子の酒 (純米大吟 醸)	ホテル志摩スペイン 村
4月27日(水)	英国	8名	鈴木 伊勢市長 小山 南伊勢町長 清水 皇学館大学学長 玉田 看護大学学長代理、 理事兼学生部長	雅楽の演奏(皇学館 大学雅楽部)	おかげさま (大吟醸)	賢島宝生苑
5月10日(火)	フランス	19名	大口 志摩市長 木下 鳥羽市副市長 亀井 鈴鹿市副市長	鈴鹿墨を使った書道 パフォーマンス(鈴鹿 墨進誠堂)	作(純米大 吟醸 雅乃 智 中取り)	ホテル志摩スペイン 村

※夕食会のホストは、すべて三重県副知事(ドイツ:植田副知事、ドイツ以外:石垣副知事)

各国首脳等と県民との交流について
～「世界との絆づくり」～

1 概要

地域の国際化や情報発信の促進、学生や子ども達のサミットへの参加意識の高揚、各国と地域の一層の関係強化につなげるため、伊勢志摩サミット開催中に、来県される各国首脳等に県内市町・大学を訪問していただき、姉妹都市関係、大学間協定をはじめとする歴史、文化、教育、産業等のつながりをふまえた伝統文化、特産品の発信等、県民との交流プログラムを実施しました。

なお、県や県内市町等からは、県内市町・大学の交流プログラムを在京大使館等に対し提案し、交流実現に向けた働きかけを行いました（提案内容は別添地図のとおり）。

2 交流内容

サミット開催期間中に実現した県民との交流は以下のとおりです。

(1) フック・ベトナム首相による伊勢神宮訪問

- ア 実施日時 5月27日(金) 16:50～18:00
- イ 場所 伊勢神宮(内宮)
- ウ 内容 伊勢神宮訪問と関係強化に向けた首相等との交流
- エ 参加者 (ベトナム) フック首相、閣僚5名 他随行者
(三重県) 鈴木知事、廣田雇用経済部長
(その他) 三ツ矢衆議院議員、小野三重県・ベトナム
友好協会会長、県民30名程度

(2) ベトナム閣僚による松阪市訪問

- ア 実施日時 5月27日(金) 9:15～11:15
- イ 場所 松阪もめん手織りセンター、旧長谷川邸 他
- ウ 内容 小学生の出迎え、松阪木綿機織り体験、松阪木綿の着物体験、茶席体験、松阪牛昼食 等
- エ 参加者 (ベトナム) マイ・ディエン・ズン政府官房長官、チャン・トゥアン・アイン商工大臣、ウ・クアン・ミン外務大臣補佐官、グエン・クオック・クオン駐日ベトナム大使、グエン・ズイ・フン首相補佐官他随行者12名
(三重県) 石垣副知事
(松阪市) 竹上市長、小林副市長、山路副市長、伊藤松阪市教育委員会委員長、松阪市議会議長、川口同副議長、谷川松阪商工会議所会頭兼松阪国際交流協会会長、松阪第一小学校5、6年生他
合計100名程度

(3) 英国首相同行プレスによる皇學館大学生との交流

- ア 実施日時 5月26日(木) 12:45~13:15
イ 場所 皇學館大学 祭礼教室
ウ 内容 雅楽部学生による演奏や舞の披露を通じた交流
エ 参加者 (英国) 英国首相同行プレス 19名
(三重県) 大橋伊勢志摩サミット三重県民会議事務局長
(皇學館大学) 学生 55名
教職員 20名

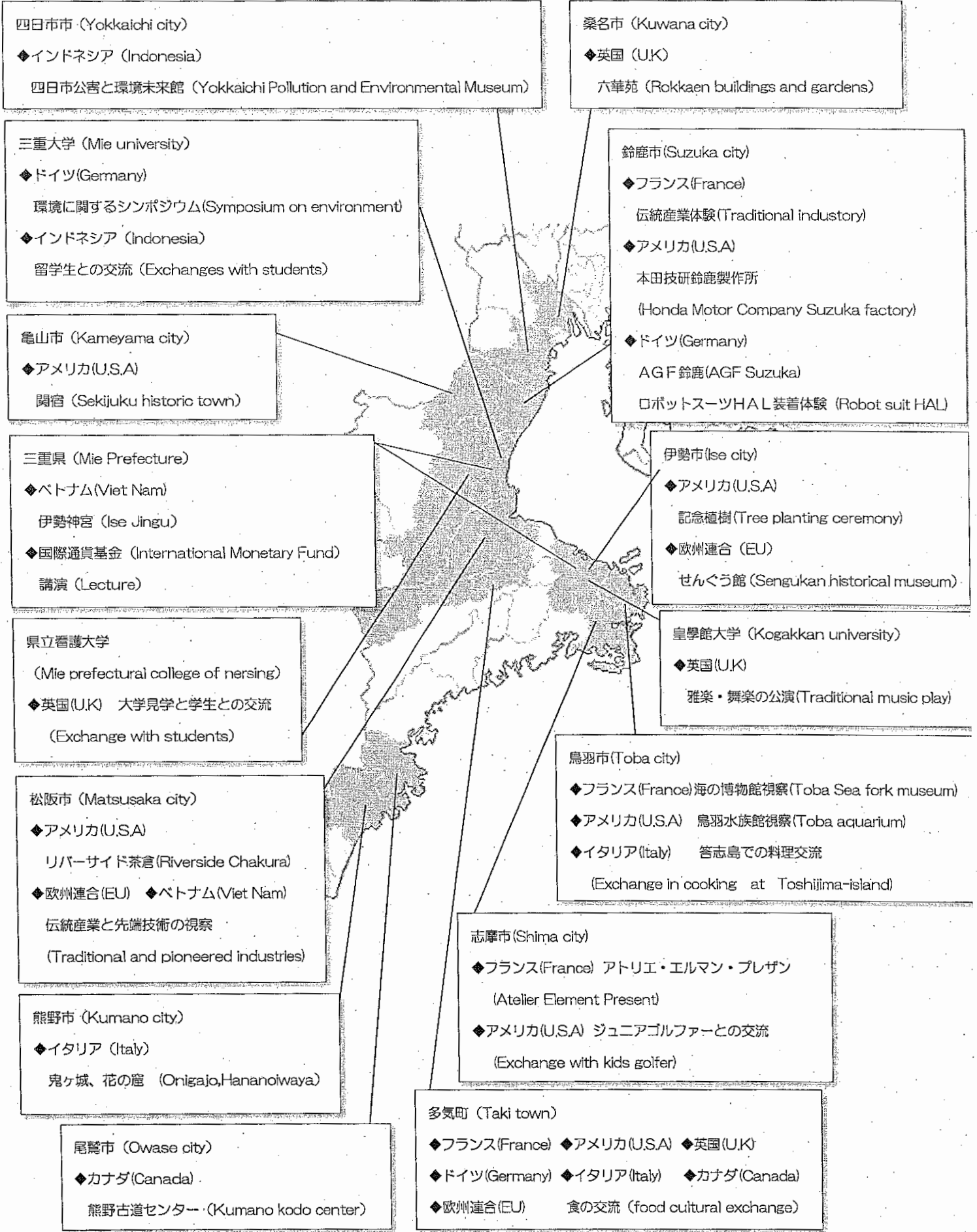
(4) アンヘル・グリア経済協力開発機構(OECD)事務総長の
伊勢神宮訪問

- ア 実施日時 5月27日(金) 14:45~15:50
イ 場所 伊勢神宮(内宮)
ウ 内容 伊勢神宮訪問と関係構築に向けた交流
エ 参加者 (OECD) アンヘル・グリア事務総長他5名
(三重県) 石垣副知事、岡田国際戦略課長

(5) クリスティーヌ・ラガルド国際通貨基金(IMF)専務理事の
ミキモト真珠島訪問

- ア 実施日時 5月27日(金) 15:20~16:15
イ 場所 ミキモト真珠島
ウ 内容 真珠博物館見学、パールプラザでのショッピング、
貴賓室での真珠取り出し体験、御木本幸吉像前で海女と
記念撮影 等
エ 参加者 (IMF) クリスティーヌ・ラガルド専務理事他4名
(三重県) 大橋伊勢志摩サミット三重県民会議事務局長
(鳥羽市) 木下副市長

世界との絆づくり
県内市町・大学等からの提案地図



関係者の宿泊について

1 宿泊予約センター

サミット関係者の宿泊先の確保及び利用者への配宿を一元的に行うため、伊勢志摩サミット三重県民会議の公認機関である「伊勢志摩サミット宿泊予約センター（以下「センター」という。）」を設置しました。

センターは、サミット関係者の客室確保をはじめ、申込受付、配宿、精算といった宿泊手配業務、受入サポート、観光振興に係る取組等を行いました。宿泊者と宿泊施設の仲介業務による手数料収入で運営され、県民会議からセンター運営事業者に対して委託料等は支払っていません。

2 宿泊状況

(1) 宿泊者数

当初は、北海道洞爺湖サミットと同程度の延べ約50万3千人、1日あたり最大約2万5千人の関係者が宿泊することを想定していましたが、4月下旬の時点で、警備計画の変更等による影響を考慮し、延べ約40万6千人の宿泊、1日あたり最大約2万2千人の宿泊見込としました。

その後も、熊本地震や米大統領の広島訪問等の影響により、警備関係者の宿泊が減ったうえ、事前に多めに予約していた関係者による直前のキャンセル等もあり、最終的にセンターを通じた県内の宿泊実績は約37万人の宿泊になる見込です。

なお、センターを通さず、宿泊施設に直接予約した関係者も多数あるようですが、実態は把握していません。

(2) 地域及び期間

伊勢志摩地域のほか、津市、松阪市、菰野町、四日市市等、県内16市町の300を超える宿泊施設からセンターへ客室提供がありました。

センターでは各国代表団を始め、国内外の報道関係者、警備、消防、医療、インフラ整備の関係者等の宿泊の手配を行いました。多くはサミット開催数日前からの宿泊でした。警察関係者については3月から宿泊を開始しており、その多くはサミット終了までの長期にわたる宿泊でしたが、大型連休期間中の宿泊者数は、宿泊施設全体の数に比べるとそれほど多くなく、一般観光客の宿泊が困難になるほどのものではありませんでした。

3 課題と対応

(1) 風評被害

4月、5月の伊勢志摩方面への旅行について、「宿が取れないのではないかな」等の風評が一部であったため、観光局と県民会議とで連携し、旅行代理店や観光客への適時的確な情報提供、伊勢志摩観光PRに取り組むことにより、正確な理解の促進と誘客に努めました。

今年の大規模連休中の県内主要施設の観光入込客数は、1日あたりの人数では前年を上回っており、一定程度、対策の効果が出たものと思われま

(2) 宿泊施設の資金繰り

サミット関係者の実際の宿泊から宿泊予約センターを通じた宿泊料金の支払いまでの期間における運転資金の課題に対応するため、「サミット関連宿泊施設支援資金融資」を創設し、資金繰りの支援を行いました。

[内容]

- ①対象：サミット用務のため警察等関係者が宿泊する施設を営む宿泊業者
※センターを介したものに限る。
- ②資金使途：サミット関係者の宿泊に係る運転資金
- ③融資限度額：売掛債権（宿泊代金）の7割
- ④融資利率：無利子（県：年利2%分補助）
- ⑤融資期間：6ヶ月以内

[利用状況]

平成28年4月1日から受付開始。6月15日現在、79件：599,880千円の融資申込み。

(3) 宿泊取消・変更

熊本地震やオバマ大統領の広島訪問等の影響で、警備計画の変更が生じ、一部の宿泊施設において、急遽、宿泊予定であった部隊が来県しなくなったり、滞在中の部隊が予定よりも早く帰ってしまうというような事態が発生しました。

大規模な取消や変更があった施設については、関係者の協力により、可能な範囲で他施設との調整による再配宿を行うとともに、宿泊予約センターは、各施設との契約の規定に基づき取消料の支払い等の対応を行いました。また熊本地震に伴う宿泊取消については、代替部隊の派遣や以後の急な宿泊変更に備え、宿泊取消があった客室の一部を確保しました。県及び県民会議としては、各施設による今後の集客に向けた取組への支援や、サミットの資産を活かした地域への観光誘客に一層取り組むこと等を通じて、今回の宿泊に協力いただいた全ての施設を対象にして経営向上を支援していきます。

プレス用シャトルバス運行について

1 目的

伊勢志摩サミットの取材のため海外から来県する報道関係者が、セントレア・宿泊ホテル間の公共交通機関による移動にあたって感じる負担や不便を軽減するため、津なぎさまちと海外プレスの宿泊先ホテルを結ぶ無料シャトルバスを運行しました。

2 取組内容

(1) 移動支援

①往路〔5月24日・25日〕

津なぎさまち発、津・松阪地区、伊勢地区、鳥羽地区行の3ルートของバスを高速船の到着時間に合わせ、津なぎさまち発 11:00~23:00 の間に各10便運行するよう手配しました。

②復路〔5月28日〕

上記3地区発、最寄の鉄道駅を経由し津なぎさまちに着くバスを高速船出発時間に合わせ、津なぎさまち着 5:30~18:30 の間に12便運行するよう手配しました。

③利用実績

5月24日：20名、 25日：20名、 28日：13名

海外報道関係者の来県が、外務省の想定より大幅に少なかった上、公共交通機関を利用した移動も少なかったのではないかと思います。

※運行手配した便のうち、乗車がないことが確認された便は運行を中止しました。また、当初想定していた航空機の発着が集中する時間帯の、津エアポートライン（高速船）への増便運航依頼は取り止めました。

(2) 情報発信

① 宿泊予約センターや外務省を通じた情報提供、セントレア内での看板設置等により、海外プレスに対し、セントレアから三重県（宿泊ホテル）への移動について、高速船利用ルートを推奨しました。

② シャトルバスの車中で三重の観光情報・トピックスに関する動画を流し情報発信に努めました。

外国語案内ボランティアについて

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置するインフォメーションセンター等において、主に外国人報道関係者に対し、円滑な取材・報道活動を行っていただくため、ボランティアを募り、外国語による交通や観光の案内、三重県の情報発信等の支援を行いました。

2 募集概要

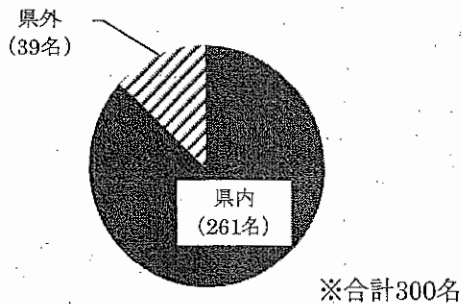
募集対象：英語による案内業務が可能な、県内外の一般、大学生、外国人留学生及び高校生等

募集期間：平成27年10月30日～12月10日

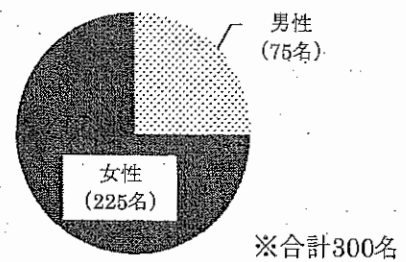
応募者数：1,003人

採用者数：300人（当初予定200人程度）

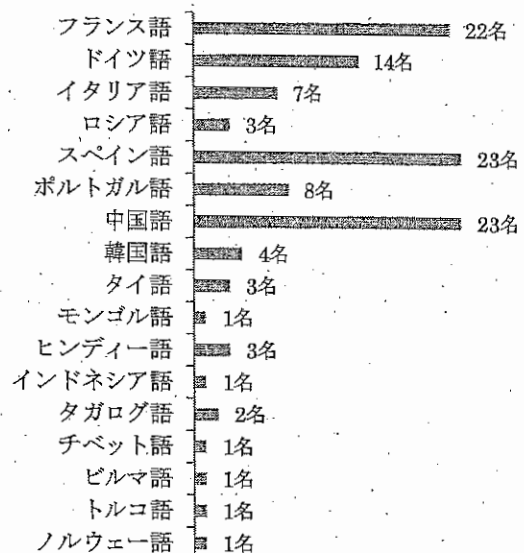
ボランティア採用者内訳（居住地別）



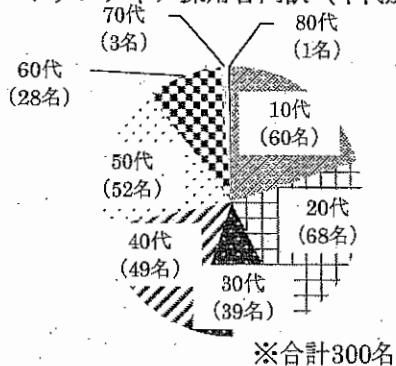
ボランティア採用者内訳（性別）



英語に加え他言語にも対応可能な人材



ボランティア採用者内訳（年代別）



3 活動概要

(1) 語学研修

第1回：平成28年2月14日（鈴鹿会場）、2月20日（伊勢会場）

参加者：計296名

第2回：平成28年3月13日（鈴鹿会場）、2月26日（伊勢会場）

参加者：計289名

(2) 接遇研修

平成 28 年 4 月 15 日 (津会場)、16 日 (伊勢会場)、17 日 (鈴鹿会場)、計 5 回開催。
参加者：計 281 名

(3) 結団式

平成 28 年 5 月 15 日 (津市センターパレスホール)
ボランティア ID・ユニフォーム贈呈、決意表明、本番に向けた講習等を実施。
参加者：223 名

(4) 外国語案内活動

平成 28 年 5 月 20 日から 28 日にかけて、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置された 11カ所のインフォメーション等において、外国語案内ボランティア 277 名が、外国人報道関係者等に対し移動・滞在・観光等の情報提供を行いました。期間中に対応した総数は、約 7,500 人、うち外国人は約 2,700 人、外国人報道関係者は 940 人でした。

また、インフォメーションセンター等以外のサミット関連事業 (プレスツアー、ジュニアサミット、配偶者プログラム等) においても、要望に応じて通訳としてボランティアを派遣しました (その場合は、採用者 300 名以外の者も派遣対象としました)。

※採用者数との差は、必須である語学研修・接遇研修の欠席や採用後の個別の事情の変化等による。

(5) 解散式

平成 28 年 6 月 11 日 (津市センターパレスホール)
感謝状授与、ボランティアからの活動報告、今後の活動案内、交流会等を実施。
活動報告では、メンバーの一人ひとりが誠実に任務にあたり、きちんと役割を果たした様子が述べられ、今回の活動を通じて知り合えた仲間との触れ合いと絆を大切に今後活動に活かしていこうと呼び掛けられました。
参加者：239 名

(6) その他

企業・学校単位の協賛事業としても、外国語案内ボランティアの派遣を受けました。
日本トランスシティ(株)：10 名、㈱百五銀行：13 名、住友電装(株)：6 名、
セントヨゼフ女子学園：33 名 (※人数は 5 月 20 日～28 日の活動実人数)

4 今後の活動

三重県が進める海外誘客及び MICE 誘致等を通じ、今後一層の増加が予想される外国人来訪者とのコミュニケーション等の場面において、また外国人住民の支援等の場面でも、今回の経験や語学力を生かしてご活躍いただきたいと思います。

具体的には、公益財団法人三重県国際交流財団の「通訳・翻訳パートナー」にご登録いただくことで、観光事業者や MICE 主催者等からの依頼に基づき、観光や国際会議開催等でのサポートという形でご活動いただけるよう、「観光ボランティア通訳派遣制度」が 4 月から新たにスタートしています。また、熊野古道語り部友の会等の県内各地の観光ボランティア団体では、外国語が出来る人材の需要が高まっており、養成講座等も開催されています。さらに、外国人住民支援の取組としては三重県国際交流財団の「医療パートナー」や「災害パートナー」への登録制度等、各地域で取組が行われています。

これらの情報を今回ボランティアに参加した方だけでなく、応募いただいた全ての方にご案内しています。

三重情報館における来場者数、展示コンテンツ等について

1 来場者数 ※報道関係者のみカウント

開催日時	延べ来場者数	うち外国人
5月24日(火) 8:00~22:00	1,126名	12名
5月25日(水) 8:00~22:00	3,672名	324名
5月26日(木) 6:00~22:00	4,889名	586名
5月27日(金) 6:00~22:00	2,880名	280名
5月28日(土) 6:00~12:00	162名	0名
合計	12,729名	1,202名

2 展示コンテンツ

No.	展示コンテンツ名	展示方法
1	伊勢志摩の自然	映像等
2	真珠	実物、映像等
3	三重熊野の自然	映像等
4	三重の木材	実物(ステージ)
5	海女	出演、映像等
6	伊賀流忍者	実演、画像等
7	桑名の千羽鶴	実物
8	斎宮	映像等
9	神宮	映像等
10	世界遺産熊野古道伊勢路	映像等
11	関宿	映像等
12	丸山千枚田と赤木城跡	映像等
13	餅街道	餅菓子振舞い等
14	伊賀くみひも	実演、実物、映像等
15	伊賀焼	実物、映像等
16	伊勢形紙	実演、実物、映像等
17	伊勢木綿	実物、外国語案内ボランティアの着用(一部)、映像等
18	鈴鹿墨	実演、実物、映像等
19	松阪木綿	実物、映像等
20	四日市萬古焼	実物、映像等
21	組子(指勘建具工芸)	実物
22	高級磁器食器(ナルミボーンチャイナ)(鳴海製陶株式会社・三重ナルミ株式会社)	実物
23	断熱・保温ペイント HIPエアロ(オキツモ株式会社)	実物
24	伊勢型紙文様を彫刻したジュラルミン削り出しスマートフォンケース(有限会社ギルドデザイン、株式会社オコシ型紙商店)	実物、映像等
25	三重県にて生産したフラッシュメモリー製品(サンディスクコーポレーション・サンディスク株式会社)	実物、映像等

26	夢の新素材 セルロースナノファイバー『レオクリスタ』 (第一工業製薬株式会社)	実物
27	低温焼成磁器製 照明器具 (有限会社泰成窯)	映像等
28	TMPS®担持触媒 (太陽化学株式会社)	実物
29	日本で唯一、国内屈指の抽出・発酵技術 (辻製油株式会社)	実物
30	競技用ヨーヨー (東海アヅミテクノ株式会社)	実物、映像等
31	精密減速機RV (ナブテスコ株式会社)	実物
32	可搬式ソーラーパネル nanoGrid (株式会社ナベル)	実物
33	蛍光表示管 (ノリタケ伊勢電子株式会社)	映像等
34	三重県産の消える筆記具『フリクション』 (パイロットインキ株式会社)	実物
35	デジタルサイネージ自動販売機 (富士電機株式会社)	映像等
36	真珠由来スキンケア (御木本製薬株式会社)	映像等
37	ゼオライト膜および濃縮日本酒 (三菱化学株式会社)	実物、映像等
38	マンション用電気錠 iEL Zero (美和ロック株式会社)	映像等
39	競技用二輪車 (株式会社モリワキエンジニアリング)	実物・映像等
40	屏風型吸音パーティション (株式会社リバ技研)	実物
41	リキッドアイスによる高鮮度保存技術 (NIT 株式会社、丸太水産)	映像等
42	あのりふぐ	映像等
43	伊勢えび	映像等
44	伊勢まだい	映像等
45	あわび	映像等
46	岩がき	映像等
47	ハマグリ	映像等
48	的矢かき	映像等
49	青さのり	映像等
50	ひじき	映像等
51	伊賀米コシヒカリ	映像等
52	結びの神	映像等
53	ハタケシメジ	映像等
54	ハナビラタケ	映像等
55	南紀みかん	映像等
56	新姫	映像等
57	三重いちご (かおり野)	映像等
58	伊賀牛	映像等
59	熊野地鶏	映像等
60	松阪牛	映像等
61	みえジビエ	映像等
62	伊勢茶	振舞い、映像等
63	三重の日本酒	振舞い、実物、映像等

3 主な展示ツール

活用ツール	内容
大型ディスプレイ (メイン映像)	縦2.5m、幅9mの大型ディスプレイで、「The spiritual heart of japan」、「三重の自然と食」、「三重の技術」を上映。また、忍者や熊野古道の大型画像を背景に記念写真撮影を実施。
小型ディスプレイ (サブ映像)	40 インチディスプレイで、伊勢神宮、斎宮、海女、伊勢志摩の自然、熊野古道、先端技術、伝統工芸などを紹介。
ステージ	伊勢神宮の宇治橋をイメージした、尾鷲ひのき (FSC 認証) を使用した大型ステージ。樹木や書等を活用した空間演出。
人型ロボット 「Pepper」	三重県庁臨時職員、Pepper による三重県情報の発信 (ソフトバンク株式会社協賛)。
仮想試着システム	ディスプレイ装置を活用した伊勢木綿の着物や忍者衣装の仮想試着 (東芝ソリューション株式会社協賛)。
デジタル情報スタンド 「PONTANA」	スマートフォンを活用して展示コンテンツの詳細情報や三重の観光情報を電子データで持ち帰りいただく (西日本電信電話株式会社、株式会社ミライト協賛)。

4 主な実演プログラムのスケジュール

月日	時間	内容
5月25日(水)	11:00~15:00の間に複数回実施 (パフォーマンスは11:00~、実演は随時)	鈴鹿墨を使用した書のパフォーマンス、書の実演
5月25日(水)	18:00~20:00	三重県内35全ての蔵元(各1銘柄)からの日本酒を萬古焼で振舞い
5月26日(木)	10:00~15:00も間に複数回実施 (初回は10:00~)	伊勢型紙の実演
5月26日(木)	18:00~21:00の間に3回実施 (初回は18:00~)	伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による忍者ショー
5月27日(金)	10:30~11:30	伊賀くみひもの実演
5月27日(金)	12:00~14:00の間に3回実施 (初回は12:00~)	現役海女による講話と対話
5月25日(水) ~28日(土)	随時	萬古焼と伊賀焼の湯呑で伊勢木綿の着物を着用したスタッフが伊勢茶を振舞い。さらに三重の餅菓子9種類を振舞い。

『三重のおもてなしバッグ』について

1. 配布対象者: 国内外報道関係者及び各国政府代表団
2. 目的: 県民のおもてなしの心と歓迎の意を表すとともに、三重の持つさまざまな魅力を伝える
3. 作成にあたっての取組方針
 - (1) 企業や団体からの協賛を得ることを基本とする
 - (2) 三重県及び伊勢志摩の広報資料を厳選して収納する
 - (3) 収納する物品等は、国との重複をさける
4. 配布数 約3,600袋
5. 収納物品等(収納物品の写真は別添参照)
 - (1) 三重県及び伊勢志摩の広報資料セット

①	○和-THE SPIRIT OF WA- ○ISE SHIMA ○ISE JINGU
---	--------------------------------------------

(2) 三重の魅力を伝える

○県内施設入場券

②	施設名称	鈴鹿サーキット
	企業名	株式会社モビリティランド
③	施設名称	伊勢・安土桃山文化村
	企業名	株式会社 伊勢・安土桃山文化村
④	施設名称	鳥羽水族館
	企業名	株式会社鳥羽水族館
⑤	施設名称	伊賀流忍者博物館
	団体名	一般社団法人伊賀上野観光協会
⑥	施設名称	三重県総合博物館、斎宮歴史博物館、三重県立美術館
	自治体名	三重県

○地元自治体提供品

⑦	商品名	海女の魔除け印ハンカチ
	自治体名	鳥羽市

(3) すぐに使える実用品

○事務用品等

⑧	商品名	uni-ball Signo 307
	企業名	三菱鉛筆株式会社/第一工業製薬株式会社
⑨	商品名	ポスト・イット® 強粘着モバイルメモ
	企業名	スリーエム ジャパン株式会社
⑩	商品名	アエルマスク
	企業名	亀山製絲株式会社
⑪	商品名	G2TAMコインおしぼり
	企業名	株式会社ピーキューテクノ

○飲食物等

⑫	商品名	ベビースターラーメン
	企業名	株式会社おやつカンパニー
⑬	商品名	28gおにぎりせんべい
	企業名	株式会社マस्या
⑭	商品名	〈煎〉レギュラー・コーヒー 上乘セドリッブ 淡麗薄口珈琲/香醇濃口珈琲
	企業名	AGF鈴鹿株式会社

○その他

⑮	商品名	三重交通バス全線無料乗車証
	企業名	三重交通株式会社

サミットバッグ内容物一覧

品名	備考
「Discover the Spirit of Japan」	日本の情景や人々の日常生活の様子を紹介するDVD
「We are TOMODACHI」	最新の政府施策や我が国の国際貢献、技術、文化交流等を紹介する政府公式海外広報誌。
「ABENOMICS IS PROGRESSING」	政府が掲げる経済政策「アベノミクス」の進捗状況・成果について説明するパンフレット。
フリクションペン	消せるボールペン。筆跡が乾いてから専用ラバーでこすると色が消える。
文房具一式	伊勢志摩サミットロゴマークが入ったメモパッド及びクリアファイル。
東京2020公式クリアファイル	2020年東京開催の東京オリンピック・パラリンピックの公式クリアファイル。
ラグビーW杯2019公式ピンバッジ	2019年日本開催のラグビーW杯の公式ピンバッジ。
日本酒	三重県産の日本酒(銘柄は数種類ある)。ラベルに安倍総理揮毫の「國酒」を使用。
お猪口	いにしえより日本屈指の焼き物産地である常滑焼、高古焼、瀬戸焼、美濃焼のお猪口。
歌舞伎フェイスパック	歌舞伎の隈取がプリントされたフェイスパック。
熊野筆チークブラシ	「筆の都」広島県熊野町で生産されているチークブラシ。
将棋グッズ	将棋の駒ストラップ
リング型タオル	「人道の港敦賀」を象徴する品。ナチスの迫害から逃れ敦賀港に降り立ったユダヤ人難民に対し、ひとりの少年がそっとリングを差し出したエピソードに基づき作成された。
お菓子各種	ハイチュウ、宇治抹茶カステラ、カントリーマアム、ポッキー

プレス等を活用した情報発信について

1 目的

伊勢志摩サミット開催を三重の魅力を国内外に発信する絶好の機会と捉え、プレスツアーの実施により、海外のメディアに三重県取材する機会を提供するとともに、世界的な発信力のあるメディアを活用した広告掲載等を行い、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透を図るとともに、開催後のインバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販売増につなげます。

2 事業の概要

プレスツアーについては、県民会議主催分や外務省主催分等を含めて、22回実施し、36ヶ国の記者の方に取材いただくとともに、有力メディアを活用したPRとして、有料広告への記事の掲載やPR映像の放映等を行いました。

(1) プレスツアー（取材場所・報道状況の詳細については、別添1～3のとおり）

①県民会議主催プレスツアー

	日時	取材地域	取材国	メディア数	報道回数
第1回	12月7日 ～8日	伊賀地域 松阪市	中、韓、独、米、露	11社	10回
第2回	2月17日 ～18日	東紀州地域	カザフスタン、仏、米	3社	1回
第3回	5月11日 ～13日	中南勢地域 鈴鹿市	米、仏、独、越、中、スイ ス、ベトナム、UAE	8社	13回
合計	—	—	—	22社	24回

②海外の富裕層への戦略プロモーション事業（県民会議主催）

	日時	取材地域	招へい者	メディア数	報道回数
第1回	2月15日 ～19日	中南勢地域 伊賀地域	フランス著名シェフ (シジル・リニャック氏) 及び海外メディア(仏)	3社	4回
第2回	3月3日 ～6日	中南勢地域 亀山市、伊賀市	欧米を中心とする 海外メディア(英、伊)	6社	13回
第3回	3月28日 ～30日	中南勢地域 東紀州地域	著名シェフ(NOBU氏) 及び海外メディア	1社	1回
合計	—	—	—	10社	18回

(注1) シジル・リニャック氏は、16歳から料理を学び、パリの有名レストランのシェフであるアランパッサール、プルセル兄弟に師事した実力を持ち、現在はパリの一つ星レストラン「ル・キャンジエム」のオーナーシェフです。

(注2) NOBU氏は、寿司職人として東京・新宿「松栄鮎」で修業した後、ペルー、アルゼンチン、アラスカでのレストランの経験を経て、1987年にビバリーヒルズに「Matsuhisa」を開店。ハリウッドの著名人たちを魅了する人気店となっています。

③外務省主催 プレスツアー

	日時	取材地域	取材国	メディア数	報道回数
第1回	8月27日～28日	北勢地域	ASEAN10ヶ国	10社	11回
第2回	8月30日～31日	南勢地域	中東5ヶ国(注3)	5社	1回
第3回	10月30日～31日	南勢地域	ベルギー	1社	2回
第4回	11月14日～15日	中南勢地域	イスラエル	1社	2回
第5回	1月30日	南勢地域	クウェート	1社	2回
第6回	5月11日～13日	中南勢地域	米、英、伊、加、仏	6社	1回
第7回	5月25日、28日	南勢地域	11ヶ国(注4)	11社	1回
第8回	5月26日、28日	中南勢地域	ケニア	1社	2回
第9回	5月28日	南勢地域	ベトナム	1社	-
合計	-	-	-	37社	22回

(注3) 第2回については、エジプト、ヨルダン、カタール、トルコ、UAEの中東5ヶ国の海外プレスが取材を行いました。

(注4) 第7回については、エジプト、エチオピア、ケニア、ヨルダン、インド、トルコ、フィリピン、マレーシア、ラオス、バングラデシュ、パプアニューギニアの11ヶ国の海外プレスが取材を行いました。

④その他団体等主催 プレスツアー

番号	主催	日時	取材地域	取材国	メディア数
1	-	9月5日	南勢地域	英	1社
2	-	1月15日 ～16日	南勢地域	独	1社
3	関西地域 振興財団	1月23日 ～24日	南勢地域、伊賀地域	英、露	5社
4	JETRO	2月15日 ～18日	伊賀地域、中南勢地域 東紀州地域	香港	1社
5	日韓文化 交流基金	2月23日	中南勢地域	韓国	8社
6	環境省	3月8日 ～10日	南勢地域	中、韓、比、印、 バングラデッシュ、 伊、スペイン	9社
7	関西地域 振興財団	4月4日 ～5日	南勢地域	中、韓、台、日、 独、伊	10社
合計	-	-	-	-	35社

(2) プレスツアーをきっかけにしたイベント

3月28日～30日に、著名シェフのNOBU(松久信幸)氏を招へいし、プレスツアーを実施した結果、同行した業者より、5月23日～27日に首都圏を中心にした61店舗で「みえ伊勢志摩サミットフェア」が実施され三重の魚介類が販売されました。

(3) プレスツアーをきっかけにした輸出

2月17日～18日に、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)と連携したプレスツアーを実施した結果、香港テレビで知事インタビューを含む三重県の紹介番組がWebで公開されました。

また、県産品2商品は既にショッピングモールでの販売を開始し、その他2商品も7月以降に取扱が開始される予定です。

(4) 有力メディアを活用した PR

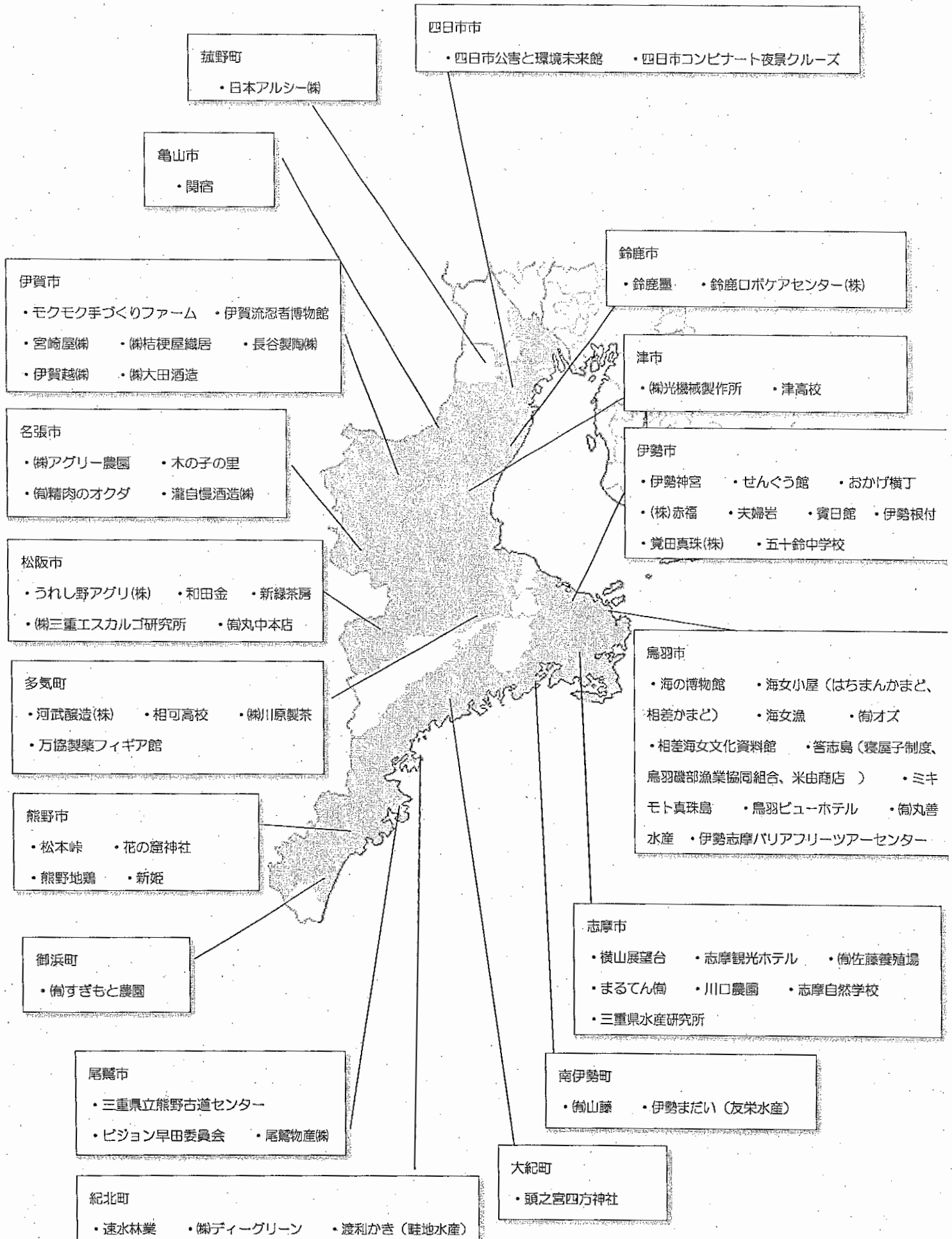
○平成 27 年度

- ・Newsweek U.S. 版への知事インタビュー及び広告の掲載
- ・ANA 国際線等における機内誌や映像等による三重県 PR
- ・CNN での三重県 TVCM の放映

○平成 28 年度

- ・AP 通信社による三重県 PR 映像等の作成及び配信
- ・ウォール・ストリート・ジャーナル紙サミット特集号への三重県 PR 記事及び広告の掲載
- ・ジャパントイムズ紙サミット特集号への三重県 PR 記事及び広告の掲載
- ・フィナンシャル・タイムズ紙への三重県 PR 広告の掲載
- ・海外有力メディアが行う取材等への積極的な協力
フィナンシャル・タイムズ紙サミット特集号での記事化
ARD ドイツテレビによる三重県の魅力の映像化 等

海外プレスツアー各市町別取材箇所



プレスツアーにおける取材場所について

1 県民会議主催プレスツアー

	日時	取材場所
第1回	12月7日～8日	モクモク手づくりファーム(伊賀市)、伊賀流忍者博物館、 ㈱アグリー農園(名張市)、木の子の里(名張市)、 うれし野アグリ(松阪市)、知事インタビュー
第2回	2月17日～18日	速水林業(紀北町)、三重県立熊野古道センター(尾鷲市)、 松本峠(熊野市)、花の窟神社(熊野市)、 ビジョン早田委員会(尾鷲市)、尾鷲物産㈱、 ㈱ディーグリーン(紀北町)、知事インタビュー
第3回	5月11日～12日	伊勢神宮、志摩観光ホテル、答志島(寝屋子制度、鳥羽 磯部漁業協同組合)、鈴鹿墨、光機械製作所(津市)

2 海外の富裕層への戦略的プロモーション事業

	日時	取材場所
第1回	2月15日～19日	宮崎屋㈱(伊賀市)、せんぐう館、(有)佐藤養殖場(志摩市)、 海の博物館(鳥羽市)、答志島、まるてん(有)(志摩市)、 伊勢神宮、おかげ横丁、相可高校(多気町)、 ㈱三重エスカルゴ研究所(松阪市)、 ㈱桔梗屋織居(伊賀市)、(有)精肉のオクダ(名張市)、 瀧自慢酒造㈱(名張市)
第2回	3月3日～6日	鳥羽ビューホテル、横山展望台(志摩市)、志摩観光ホテル、 まるてん(有)(志摩市)、海女小屋(相差かまど)(鳥羽市)、 和田金(松阪市)、せんぐう館、伊勢神宮、赤福 (五十鈴茶屋)、おかげ横丁、夫婦岩(伊勢市)、賓日館 (伊勢市)、ミキモト真珠島(鳥羽市)、関宿(亀山市)、 長谷製陶㈱(伊賀市)、伊賀流忍者博物館
第3回	3月28日～30日	せんぐう館、伊勢神宮、相差海女文化資料館(鳥羽市)、 海女小屋(相差かまど)(鳥羽市)、 友栄水産(伊勢まだい)(南伊勢町)、 畦地水産(渡利かき)(紀北町)、尾鷲物産㈱、熊野地鶏、 新姫(熊野市)、新緑茶房(松阪市)

3 外務省主催プレスツアー

	日時	取材場所
第1回 (ASEAN10ヶ国)	8月27日～28日	四日市公害と環境未来館、 日本アルシー(株)(菰野町)、 四日市コンビナート夜景クルーズ
第2回 (中東5ヶ国)	8月30日～31日	せんぐう館、伊勢神宮、おかげ横丁、横山展望台 (志摩市)、海の博物館(鳥羽市)、海女小屋(は ちまんかまど)(鳥羽市)
第3回 (ベルギー)	10月30日～31日	伊勢神宮、おかげ横丁、ミキモト真珠島(鳥羽市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)
第4回 (イスラエル)	11月14日～15日	米由商店(鳥羽市)、河武醸造(多気町)、 頭之宮四方神社(大紀町)
第5回 (クウェート)	1月30日	佐藤養殖場(志摩市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)、 伊勢神宮、おかげ横丁、有限会社オズ(鳥羽市)
第6回 (G7の5ヶ国)	5月11日～13日	伊勢神宮、志摩観光ホテル、答志島(寝屋子制度、 鳥羽磯部漁業協同組合)、鈴鹿墨、光機械製作所(津 市)、航空宇宙産業振興・みえライフイノベーション 総合特区、鈴鹿ロボケアセンター、伊勢根付
第7回 (11ヶ国)	5月25日、28日	光機械製作所(津市)、伊勢市立五十鈴中学校、海 女漁と海女小屋(はちまんかまど)、伊勢神宮、お かげ横丁
第8回 (ケニア)	5月26日、28日	津高校、海女漁と海女小屋(相まかまど)、伊勢神 宮、おかげ横丁
第9回 (ベトナム)	5月28日	伊勢神宮、おかげ横丁、海女漁と海女小屋(はち まんかまど)

4 その他団体等主催プレスツアー

主催	日時	取材場所
—	9月5日	伊勢神宮、横山展望台(志摩市)
—	1月15日～16日	志摩観光ホテル、伊勢神宮
関西地域 振興財団	1月23日～24日	志摩観光ホテル、横山展望台(志摩市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)、 ミキモト真珠島(鳥羽市)、 夫婦岩(伊勢市)、伊勢神宮
(独) 日本貿易 振興機構 (JETRO)	2月15日～18日	長谷製陶(株)(伊賀市)、伊賀流忍者博物館、 伊賀越(株)、(株)大田酒造(伊賀市)、せんぐう館、 伊勢神宮、おかげ横丁、ミキモト真珠島(鳥羽市)、 (株)丸善水産(鳥羽市)、 海女小屋(はちまんかまど)(鳥羽市)、 川口農園(志摩市)、(株)山藤(南伊勢町)、 (株)川原製茶(多気町)、(株)すぎもと農園(御浜町)、 尾鷲物産(株)、(株)ディーグリーン(紀北町)、 和田金(松阪市)、(株)丸中本店(松阪市)、 知事インタビュー

日韓文化交流基金	2月23日	扇芳閣（鳥羽市）、伊勢志摩バリアフリーツアーズセンター（鳥羽市）、ミキモト真珠島（鳥羽市）、海の博物館、万協製菓フィギア館（多気町）
環境省	3月8日～10日	伊勢神宮、おかげ横丁、海の博物館（鳥羽市）、まるてん（志摩市）、志摩自然学校、友栄水産（南伊勢町）、ミキモト真珠島（鳥羽市）、海女文化資料館（鳥羽市）
関西地域振興財団	4月4日～5日	覚田真珠（伊勢市）、横山展望台（志摩市）、志摩自然学校、三重県水産研究所（志摩市）、志摩観光ホテル、夫婦岩（伊勢市）

プレスツアーの取材に基づく報道状況について

1. 県民会議主催プレスツアー

(1) 第1回 (12/7~8) 取材地：伊賀市、名張市、松阪市

国名	社名	記事等タイトル
中国	金融時報 (新聞)	日本の地域活性化には長い道のり
	人民日報 (新聞)	伊賀流忍者博物館を訪ねて
	垂太日報 (新聞)	日本の近代史の裏に“隠密の力”
	法制日報 (新聞)	日本は数多くの政策により 農村経済の発展を支援
韓国	SBS TV	「忍者」を前面に出し観光客を誘致 8年ぶりに韓国を追い越す
	YTN TV	観光大国を狙う日本 「忍者を押し出せ」
ドイツ	フランクフルター・アルゲマイネ・ ツァイトゥング (新聞)	野心的な日本の農家
スイス	ノイエ・チュルヒャー・ ツァイトゥング (新聞)	同上
ロシア	ロシア24TV	今日の忍者
ニュージー ランド	ファーマーズウィークリー (Web)	六次産業化で更に儲かる農家

(2) 第2回 (2/17~18) 取材地：紀北町、熊野市、尾鷲市

国名	社名	記事等タイトル
カザフ スタン	24KZ (テレビ)	日本、漁師と水産加工業者の 確保が喫緊の課題

(3) 第3回 (5/11~13) 取材地：志摩市、鳥羽市、伊勢市、鈴鹿市、津市

国名	社名	記事等タイトル
ドイツ	ドイツ写真通信社 (新聞)	G7サミットに向けテロ対策訓練
	ARDドイツテレビ (テレビ)	「自然！瞑想！調和！」、「行くな！そう ではない！止まれ！」
フランス	AFP (通信社)	日本G7テロ対策訓練
アメリカ	ブルームバーグ (通信社)	安倍首相が宗教を推し進めるなか、日本の 神社は危機に
ベトナム	ベトナムニュース (通信社)	「伊勢神宮、日出国で一番神聖な神社」、 「日出国で最も神聖な場所への巡礼」、「鈴 鹿墨」、「1200年の歴史をもつ墨の加 工技術を日本で発見」、「答志島 日本特 有の伝統を受け継ぐ」、「答志島 地域の つながりパート1」、「答志島 地域のつ ながりパート2」、「答志島 (魚市場、競 りの様子)」

2 海外の富裕層への戦略プロモーション事業

(1) フランスの著名シェフ及び海外メディアを招へい (2/15-19)

取材地：伊賀市、志摩市、鳥羽市、伊勢市、多気町、松阪市、名張市

国名	社名	記事等タイトル
フランス	VOYAGE (Web)	伊賀上野
	リートラベル (Web)	三重の食文化
	ル・モンド (Web)	自然と美食の
	デイリーミール (Web)	旅の味

(2) 欧米を中心とする海外メディアを招へい (3/3-6)

取材地：鳥羽市、志摩市、松阪市、伊勢市、亀山市、伊賀市

国名	社名	記事等タイトル
イギリス	BBC	海女たちにとってのサミット景気
イタリア	TGCOM24 (テレビ)	日本のG7、知事インタビュー
	ILSOLE24 (新聞)	G7
	Food Confidential (Web)	「海女は、平和で調和に満ちた微笑みをくれた素晴らしい女性たち」、「おかげ横丁」、「かつお節」、「松阪牛」、「赤福」
	SETTE (雑誌)	G7に日本が「賭ける精神性と真珠漁」
	CLASS (雑誌)	G7の開催地はもともと美食に溢れた場所
イタリア	VANITYFAIR (雑誌)	いいもの発見
日本	The Japan Times (雑誌)	伊勢神宮：世界に語られるべき物語

(3) 著名シェフ及び海外メディアを招へい (3/28-30)

取材地：伊勢市、鳥羽市、南伊勢町、紀北町、尾鷲市、熊野市、松阪市

国名	社名	記事等タイトル
日本	ジャパントラベル (Web)	三重県

3. 外務省主催プレスツアー

(1) 第1回 (ASEAN10ヶ国) (8/27-28) 取材地：四日市市、菰野町

国名	社名	記事等タイトル
タイ	デイリー・ニュース紙 (新聞)	地域と産業が共生する三重
ブルネイ	ボルネオ・プレティン紙 (新聞)	産業と環境にやさしい四日市

(2) 第2回 (中東5ヶ国) (8/30-31) 取材地：伊勢市、鳥羽市

国名	社名	記事等タイトル
カタール	アルジャジーラ・ネット紙 (Web)	日本、アラブ人の目からみて (副題：真珠の町、志摩)

(3) 第3回 (ベルギー) (10/30-31) 取材地：伊勢市、鳥羽市

国名	社名	記事等タイトル
ベルギー	モルゲン誌 (雑誌)	現代的な国に伝統的な精神
	ヘット・ヴァカンティサロン誌 (雑誌)	日本が熱い

(4) 第4回 (イスラエル) (11/14-15) 取材地: 鳥羽市、多気町、大紀町

国名	社名	記事等タイトル
イスラエル	ハアレツ紙 (新聞)	日本は乗り越えるために支援を得ることを学んでいる
	ハアレツ紙 (新聞)	魚と人々について

(5) 第5回 (クウェート) (1/30-31) 取材地: 志摩市、鳥羽市、伊勢市

国名	社名	記事等タイトル
クウェート	アル・アンバー紙 (新聞)	すばらしい国日本
	クウェートタイムズ紙 (新聞)	同上

(6) 第6回 (G7の5ヶ国) (5/11-13) 取材地: 鳥羽市、伊勢市、鈴鹿市、津市

国名	社名	記事等タイトル
イギリス	ザ・ヘラルド紙 (新聞)	我々スコットランド人は日本人から多くを学ぶことができる

(7) 第7回 (11ヶ国) (5/25、28) 取材地: 鳥羽市、伊勢市

国名	社名	記事等タイトル
ラオス	ラオス国営通信 (通信社)	三重県では漁の伝統が素晴らしく保護されている

(8) 第8回 (ケニア) (5/26、28) 取材地: 鳥羽市、伊勢市

国名	社名	記事等タイトル
ケニア	ケニア	包括的教育
		おばあちゃんダイバーが日本の海で狩りをする

協賛、応援、寄附の実績について

協賛、応援、寄附の実績は、下記のとおりです。

協 賛			
			計 199 件
協賛の分類別内訳			
飲料の提供	21	クリーンアップ活動への参加	20
食品の提供	17	花いっぱい活動への参加	17
お菓子の提供	6	ポスター印刷費用の負担	17
物品の提供	59	外国語案内ボランティアの派遣	3
施設の貸与	9	その他	19
情報発信の協力	11		
協賛の主な活用事例			
<p>県民会議が実施する事業に対して、例えば次のような協賛をいただくことで、事業をより効果的かつ効率的に実施することができました。</p> <p>【開催 150 日前イベント(H27. 12. 27)】 松阪牛・いちご・バラの提供、まぐろ解体ショーの調理補助員の派遣等</p> <p>【第 2 回サミットフォーラム(H28. 1. 16)】 ボールペン・清涼飲料水・生け花の提供、会場の無償提供等</p> <p>【おもてなし大作戦キックオフイベント(H28. 2. 14)】 伊勢茶・ミネラルウォーター・清涼飲料水・振る舞いぜんざいの提供、ごみ袋・スタンド灰皿の提供等</p> <p>【花いっぱいスタートセレモニー(H28. 4. 2)】 しじみ等の提供及び振る舞いの調理員の派遣、菓子類・清涼飲料水・おにぎりの提供、会場の飾花及び講師の派遣等</p> <p>【第 3 回サミットフォーラム(H28. 4. 16)】 進捗管理システムの提供、エコグッズ・メモ帳・コスモス種子の提供、青さのり・伊勢茶の提供等</p> <p>【ジュニア・サミット(H28. 4. 22~28)】 海洋深層水・コーヒー・清涼飲料水・かぶせ茶・菓子類の提供、タオル・エコグッズ・メモ帳・シャンプー等の提供、施設の無償提供、救急箱の貸与等</p> <p>【子どもふるさとサミット(H28. 5. 14)】 麦茶の提供</p>			

【三重情報館(H28. 5. 24~28)】

千羽鶴・インスタント食品・ボールペン・清涼飲料水・萬古焼の酒盃・伊勢神宮写真集・仮想試着サービスシステム・多言語音声合成サービスシステム・デジタル情報スタンド・バラの提供、伊勢茶の振る舞いおよび要員の派遣、組子建具の無償貸与等

【三重のおもてなしバッグ(H28. 5. 24~28)】

施設入場券・ボールペン・メモ帳・マスク・おしぼり・菓子類・コーヒー・バス無料乗車証の提供等

【三重の高校生サミット(H28. 6. 12)】

清涼飲料水の提供

応 援			
			計 845 件
応援の分類別内訳			
ポスター掲示	124	応援商品	152
独自ポスター・看板	22	応援商品(売上一部寄附)	12
カウントダウン企画	32	応援ソング	6
記念キャンペーン	27	サミットPR	324
記念イベント・セミナー	104	三重の魅力発信	21
記念イベント(売上一部寄附)	2	その他	19
<p>サミット応援商品の開発や、サミット応援セール開催の他、講演会や演奏会でのサミットのPR、自社の店舗や施設でのサミット応援メッセージやポスター掲示によるPR等に取り組んでいただくことにより、広くサミットの情報を発信し、開催機運を醸成することにつながりました。</p>			

寄 附			
合計		994 件	525,660,282 円
内 訳	法人		499,377,271 円
	個人	一般	25,470,538 円
		クラウドファンディング	812,473 円
<p>募集開始当初は目標額を1億円以上と設定し、途中で2億円以上に上方修正しました。多くの方々からご支援をいただき、これらの目標額や、北海道洞爺湖サミットの寄附金額約2億8千万円を大きく超えることになりました。多大なご寄附をいただき、ありがとうございました。</p>			

※ クラウドファンディングは2月29日、協賛・応援は5月10日、寄附は5月31日で募集を終了しました。なお、それぞれの実施状況等を整理中であるため、実績値は変更になる可能性があります。

県民参加等の実績について

1 公式行事

(1) G7首脳伊勢神宮訪問

- ・ 園児達（神宮附属幼稚園）によるお出迎え 46名（外務省ホームページより）
- ・ 小学生（伊勢市、志摩市、鳥羽市、南伊勢町、大紀町、玉城町、度会町）による植樹のお手伝い 20名

(2) 配偶者プログラム

① 総理夫人主催昼食会（於：杉風荘（さんふうそう））

- ・ 相可高校の生徒・教員による食事の提供や交流等 11名
- ・ メニュー監修（懐石かみむら 上村 雅春料理長）

② 真珠島交流プログラム（於：ミキモト真珠島）

- ・ 海女によるお出迎えや交流 85名
- ・ 鳥羽市女将団体によるお出迎え 9名
- ・ 伊勢音頭保存会・「伊勢っ子」との踊りによる交流 41名
- ・ 鳥羽九鬼水軍太鼓保存会による演奏 8名
- ・ はあぶ工房 together によるシフォンケーキ、維雅幸育会ふっくりあもオンマールによる伊賀の飛猿サブレの提供
- ・ 通訳ボランティアによる通訳サポート 5名

③ 植樹（於：志摩観光ホテル ザ・クラブ敷地内）

- ・ 志摩市立神明小学校児童による植樹サポート 9名

④ 総理夫人主催夕食会（於：志摩観光ホテル ザ・クラブ「リアン」）

- ・ 若手バイオリニストの巽千夏さん（津市在住の中学生（13才））による演奏 1名

⑤ 国際メディアセンター（IMC）視察（於：IMC）

- ・ 伝統工芸士による伊賀くみひもの実演 1名
- ・ 県手もみ茶技術伝承保存会による伊勢茶手もみ実演と試飲 2名
- ・ 障がい者等とのパラスポーツ体験（伊勢市立四郷小学校生徒） 約50名
- ・ 通訳ボランティアによる竹細ワークショップの通訳サポート 2名

2 三重情報館

- ・ 鈴鹿墨を使用した書のパフォーマンスと書の実演 5名
- ・ 県内35全ての蔵元（各1銘柄）からの日本酒の振る舞い 2名
- ・ 伊勢形紙の実演 1名
- ・ 伊賀忍者特殊集団「阿修羅」による忍者ショー 5名
- ・ 伊賀くみひもの実演 1名
- ・ 現役海女による講話と対話 2名
- ・ 伊勢茶と三重の餅菓子の振る舞い 2名

3 各国首脳等と県民との交流～「世界との絆づくり」～

(1) ベトナム首相による伊勢神宮訪問

- ・ フック首相のお出迎え、記念撮影等 約30名

(2) ベトナム閣僚による松阪市訪問

- ・ 小学生（松阪第一小学校）によるお出迎え 70名
- ・ 県民（小学生以外）によるお出迎え 約30名

(3) 英国首相同行プレスによる皇學館大学生との交流

- ・ 雅楽部学生による演奏や舞の披露 55名

4 ジュニア・サミット

- ・ 日本代表参加者（高校生） 4名
- ・ 討議に資する視察への参加（案内・交流） 県立四日市高等学校 9名
- ・ 県内分散型体験・交流行事への参加（案内・交流）（各地域の高校生） 28名
（4コース×7名）
- ・ 県内農業高校等による花のプランターづくり（180個） 141名
県立四日市農芸高等学校、県立久居農林高等学校、県立相可高等学校、
県立伊賀白鳳高等学校、県立明野高等学校、私立愛農学園農業高等学校
- ・ 開催日程中のハンドベル演奏 私立セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 32名
- ・ 県内分散型体験・交流行事でのおもてなし
鈴鹿墨のパフォーマンス 私立鈴鹿高等学校書道部 14名
まごの店での昼食のふるまい 県立相可高等学校食物調理科 19名
太鼓演奏 県立特別支援学校玉城わかば学園 31名
歓迎 141名
亀山市立関中学校9名、松阪市立柿野小学校21名、多気町立西外城田保育園19名、
多気町立佐奈保育園22名、県立上野高等学校40名、明和町立みどり保育所30名
お囃子演奏 亀山市立関小学校 17名
- ・ お別れセレモニーでの吹奏楽演奏等
県立白子高等学校吹奏楽部 30名
スタンド花作成 県立久居農林高等学校 3名
- ・ 参加者用名札（伊賀組紐）の作成
県立杉の子特別支援学校石薬師分校、県立特別支援学校伊賀つばさ学園 19名
- ・ マイ箸袋（さをり織り）の作成
県立稲葉特別支援学校、県立特別支援学校西日野にじ学園 25名
- ・ ウェルカムメッセージの作成（開発したまごごろ商品とともに）
県立相可高等学校生産経済科（万協製薬株式会社の協賛あり） 5名
- ・ KUWANA NIGHTでの桑名市民によるお出迎え 約2,000名
- ・ 桑名石取祭の祭車 13台
- ・ サポートデスクの設置（看護師・臨床心理士、リフレッシュコーナーの設置等）
- ・ 将棋体験 日本将棋連盟三重県支部連合会 プロ棋士を含む5名
- ・ 三重県出発の見送り（ホテルから県道まで600mを超える見送りの列）
県内高校生、通訳ボランティア、警備にあたった警察官、ナガシマリゾートスタッフ、
事務局スタッフ等

5 おもてなし大作戦

(1) クリーンアップ作戦

- ・ おもてなし大作戦キックオフイベントへの参加者 約700名
- ・ 市町における活動 29市町（6万人以上）※雨天中止の1町を含む
- ・ 企業、団体等による活動 34団体 ※キックオフイベントへの協賛等を含む
- ・ 東海二県一市と連携した活動 1,300名以上

(2) 花いっぱい作戦

- ・ スタートセレモニーへの参加者 約 300 名
- ・ 花の寄せ植え体験講座への参加者 1,000 名
- ・ 市町における活動 29 市町
- ・ 企業、団体等による活動 36 団体 ※スタートセレモニーへの協賛等を含む
- ・ 飾花数 11 万本以上

6 外国語案内ボランティア

- ・ 平成 28 年 5 月 20 日から 28 日にかけて、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置されたインフォメーション等で活動。
- 活動者 339 名 (企業・学校単位の協賛事業として派遣された職員・生徒 62 名含む)。
- ※このほか、配偶者プログラム等、その他のサミット関連事業でも活動
- ・ ボランティアのユニフォームのデザイン考案 県立飯野高等学校 2 名

7 協賛、応援、寄附の実績

協賛 199 件、応援 845 件、寄附 994 件・525,660,282 円

8 伊勢志摩サミットフォーラム

- ・ 第 1 回 (志摩市) 参加者 300 名
- ・ 第 2 回 (鈴鹿市) 参加者 600 名
- ・ 第 3 回 (津市) 参加者 650 名

9 懸垂幕・横断幕の設置

サミット開催 150 日前より、県内市町、各県庁舎計 40 ヶ所に懸垂幕・横断幕を掲出

10 多様な主体における国際理解・国際交流事業

(1) 国際理解・国際交流プログラム

平成 27 年度 91 回実施

内訳：北勢 40 回、中南勢 17 回、伊賀 8 回、伊勢志摩 25 回、東紀州 1 回

(2) 外務省事業「イチからわかる！サミット塾」

平成 27 年度 29 校で実施

内訳：北勢 9 件、中南勢 2 件、伊賀 4 件、伊勢志摩 12 件、東紀州 2 件

11 海外プレスツアー

計 22 回の海外プレスツアーを実施し、36 の国と地域のメディアが参加
(県内 18 市町を取材)

※計 22 回には、県民会議主催以外に、外務省等の他団体主催分を含めています。

12 伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスター

- ・ 第 3 弾 県内応募件数 13 件 (※全応募数 22 件)

〔内訳：津市 3 件、四日市市 3 件、いなべ市 2 件、鳥羽市 2 件、玉城町 2 件、伊賀市 1 件〕

- ・ 第 4 弾 県内応募件数 14 件 (※全応募数 31 件)

〔内訳：津市 5 件、伊勢市 3 件、四日市市 2 件、鈴鹿市 1 件、松阪市 1 件、伊賀市 1 件、鳥羽市 1 件〕

(3) 伊勢志摩サミット終了後の取組について

1 伊勢志摩サミット終了後の取組

(1) サミット終了後の県民等へのメッセージ

サミット終了後に、県民をはじめ、様々なご支援・ご協力をいただいた幅広いステークホルダーの皆さんに対して、これまでのご支援やご協力に対する御礼と、サミット開催の受入・準備で培った数多くのレガシーを今後の三重県づくりに生かす「今後への呼びかけ・宣言」について、ポスター・新聞広告・県政だよりみえの3つの媒体を用いて、県内に発信しています。

○県民会議第5弾公式ポスター（平成28年5月30日に発表）※別添1参照

県民へのメッセージに加えて、県民の様々なサミットに向けた活動や県民会議の取組を表現する写真素材の活用を中心としたデザインで構成。

○新聞広告（平成28年5月28日に掲載）※別添2参照

読売・朝日・毎日・日本経済・産経・中日・伊勢新聞の東海版朝刊（全5段、モノクロ）に、県民等へのメッセージ、県民会議の取組やサミット当日の写真を掲載。

○県政だよりみえ増刊号（平成28年6月26日に発行予定（新聞折込））

タブロイド判2ページ（表/裏）に、県民へのメッセージや、県民会議の取組の写真等を掲載。

(2) IMCアネックスの公開

サミットの現場を、次世代を担う県内小・中・高等学校生をはじめ、県民の皆さまに肌で感じていただくため、サミット終了後の平成28年5月30日（月）から6月10日（金）まで、IMC仮設施設（以下、IMCアネックス）を部分的に公開しました。

○公開施設

IMCアネックス1階（政府広報展示スペース、三重情報館、ダイニングスペース）

IMCアネックス2階（ブリーフィングルーム）

○対象・公開期間

・県内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒2,424名（引率者含む）

平成28年5月30日（月）～6月10日（金）（平日のみ）9:00～16:00

・子どもふるさとサミット参加者及び三重の高校生サミット参加者103名（保護者含む）

平成28年6月4日（土）9:00～14:00

・一般県民等 1,040名

平成28年6月4日（土）13:00～16:00、5日（日）9:00～16:00

(3) 伊勢志摩サミット記念館（仮称）

サミットの足跡を後世に伝えるとともに、子どもたちに学習の機会を提供するため、サミットの様子や使用された調度品・県産材等の紹介を行う伊勢志摩サミット記念館（仮称）を設置します。

- 設置時期：サミット開催1年後（平成29年5月）まで
- 設置場所：サミット開催の記念となり、既存の建物を活かすとともに、アクセス的にも優れた場所を念頭に選定
- 運営主体：記念館を設置する市町において運営及び運営にかかる費用を負担
- 展示内容：調度品・県産材の紹介の他、動画の活用等、動的な要素も盛り込む

(4) 大学生・留学生との交流事業

サミットの開催成果を確かな資産として「明日へつなぐ」ため、県外の大学生や留学生等が三重に集い、県内の大学生や留学生等とともに、サミットに関係するテーマ等について討議を行う大学生版のサミットを開催し、サミット開催地・三重県が次世代グローバル人材育成の地となることを目指します。

- 開催日：平成28年8月31日（水）～9月3日（土）
- 開催場所：伊勢市及び南伊勢町
- 取組内容：サミット関連テーマ等に関する討議・発表
討議に資する現場体験・学習 等
- 参加者：首都圏を中心とする県外の大学生、大学院生、留学生
県内の大学生、大学院生、留学生
- 参加人数（予定）：100人程度

(5) 国際理解・国際交流プログラム

サミット開催を契機に、次世代を担う子どもたちが、サミット参加国について理解を深めるとともに、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとするため、平成27年度に引き続き「国際理解・国際交流プログラム」を実施します。平成28年度は、県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象とし、授業等にサミット参加国出身の在住外国人や留学生等、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣します。

- 実施予定期間：平成28年6月6日～9月30日（全30回）
学校別 小学校19回、中学校6回、高等学校1回、特別支援学校4回
地域別 北勢17回、中南勢7回、伊賀3回、伊勢志摩2回、東紀州1回

（注）平成28年4月14日（木）～5月11日（水）に募集し、56回分の応募がありました。

(6) 伊勢志摩サミット記録誌

サミットの記憶を後世に引き継ぐとともに、サミット後の県や市町の施策展開や民間企業等の取組に役立てるため、サミットの準備段階から開催までの経過、県民会議や県、市町の取組等を編さんし、記録誌として刊行します。

平成28年内をめどに発行し、サミットへのご支援、ご協力をいただいた方々や関係機関の方々へ配布する予定です。

2 伊勢志摩サミット三重県民会議の今後のスケジュール

各事業の事業費等について、ある程度見通しが立った時期（8月から9月頃を想定）に部会を開催し、県民会議予算の決算見込と併せて、県民会議決算時において残余となる金額に係る基金設置の議論を行う予定です。その後、適切な時期（11月から12月を想定）に県民会議の決算を行うべく、部会及び役員会を経たうえで、総会において決算を審議いただく予定です。

なお、県民会議については、総会で決算の承認がなされたうえで解散手続となります。

○会議開催スケジュール案

・8月～9月

企画運営部会：決算見込、基金の設置方針

・10月～11月

企画運営部会：決算及び基金の設置案審議

事業推進部会：取組状況の報告（記念館、記録誌、大学生・留学生との交流事業等）

役員会：決算及び基金の設置案審議

総会：決算の審議、県民会議解散手続、基金の設置の報告

伊勢志摩サミットへのご支援とご協力 ありがとうございました。

皆さまのご協力により、伊勢志摩サミットは大きな成果とともに無事閉幕しました。
三重県ではこの成果を明日へとつなぐために、サミット閉幕後も様々な事業の展開を予定しています。
これからもご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



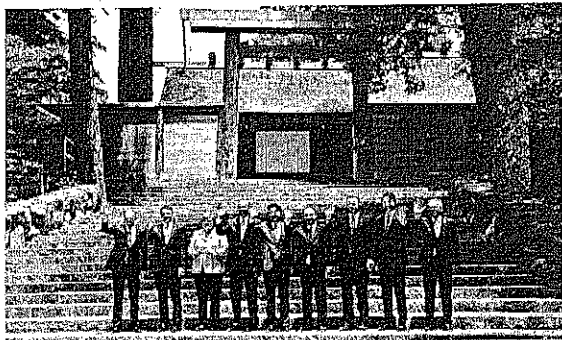
つぎの三重へ、つぎの明日へ。



伊勢志摩サミットへのご支援とご協力、ありがとうございました



伊勢志摩サミット
三重県民会館



三重県民の皆さまをはじめ、全国の企業や団体の皆さま等からの
温かいご支援とご協力のおかげで、伊勢志摩サミットは、
大きな成果とともに、無事閉幕しました。心から感謝を申し上げます。
おもてなし大作戦、協賛・応援・寄附、外国語案内ボランティア、
ジュニア・サミットなど様々な機会を通じて、産・学・民・官が一体となり、
素晴らしい力を発揮できたことは、私たち全員の誇りです。



伊勢志摩サミット三重県民会館会長
三重県知事 鈴木 英敬

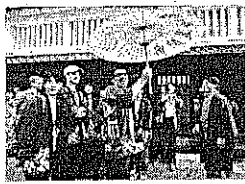
三重県では、伊勢志摩サミットの資産(レガシー)を三重の未来に
生かしていくため、サミットを契機とした様々な事業を展開していきます。
引き続き皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



様々な現場で活躍した外国語案内ボランティア



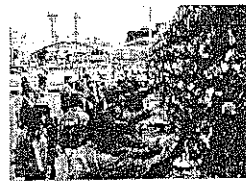
36カ国(地域)のプレスからの取材を受けた
海外プレスツアー



Q7各国の若者28人が議論し、地元との交流を
深めたジュニア・サミット



地元の皆さまが一丸となっておもてなしを
行った歓迎行事



三重県内全29市町で取り組まれ、
11万本以上の花が飾られた「花いっぱい作戦」



6万人以上の方々に参加いただいた
「クリーンアップ作戦」

つぎの三重へ、つぎの明日へ

